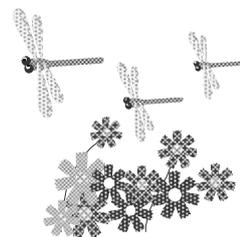


子育て通信(秋季号)

子どもに向かい合い続ける保護者を応援します。 令和2年11月



~令和2年度家庭教育学級補助金の申請を受付けています~

対象団体	保育園、幼稚園、小学校及び中学校の父母の会やPTA等
要件	参加予定人数を20人以上とすること 実施時間が2時間以上とすること 実施場所が墨田区内であること 参加者を補助対象団体構成員だけに限らないこと
対象となる活動経費	講師謝礼、保育協力謝礼、会場使用料、事務用品・印刷費用等
対象となる活動の例	講演会・学習会の開催 子どもと一緒に開くスポーツ大会、地域交流など(講師による講義を含むもの)
補助金額	1団体1回 上限29,000円
補助団体	年間 先着15団体程度
申請受付	令和3年2月5日(金)まで 申請の受付をいたします。 区ホームページ、墨田区役所地域教育支援課(墨田区役所11階)で配布している 所定の書式に必要事項を記入の上、メール、郵送、もしくは直接窓口へ持参して ください。

補助金交付についての詳細や申請書等の書式は、右記QRコードからご覧になれます。



活用事例紹介

令和2年度に補助金を利用した団体の事業内容をご紹介します。

団体名 「SmileKidsMarket」



テーマ 「アイシングクッキーづくり～たべもの・おかねの大切さ」

「Petit Bonheur(プチボヌール)」の岩上さんを講師に招き、コロナウイルスの影響で経済活動が低迷している現状を交えながら、アイシングクッキーづくりを通じて、親子で楽しくお金(経済)について学ぶ。

日時 令和2年5月31日(日)14:30~16:30

会場 オンライン(ZOOMを利用)

「～参加者・主催者の声～」

オンラインでの講座であったため、密にならず小さな子どもがいても自宅で参加できて良かった。

久しぶりに友達と交流することができて有意義な時間を過ごせた。

状況が落ち着いたら、買い物に行ってお店を応援したいという気持ちになった。

色々なことに挑戦したいと前向きになった。今後の生活に生かしていきたい。

オンラインでの取り組みを通じて、多くの参加者から好評をもらった。新しい学びの場として必要性を感じた。

【連絡先】 墨田区教育委員会事務局地域教育支援課 電話 03-5608-1433

子育て通信 しつけや生活習慣の確立、家庭学習の習慣づけなど、家庭内における教育を支援するため、季刊で発行しています。子育てや家庭教育に関する様々な課題への対処法等について、コラム形式で専門家が紹介するほか、教育委員会で実施する講座等の情報を掲載していきます。裏面にコラムがあります



『子育て支援ヨラム』

令和2年度第2回テーマ
～「読み継がれる絵本」～

春以降、リモートワークなど、新しい働き方や教育・診療の手段が模索され続けています。子どもたちへの読み聞かせでも、多々変化がありました。なかでも、オンラインによる読み聞かせなどで、著作権法の公衆送信権の侵害を危惧した出版社や図書館等が、HP に注意喚起を掲載したことが印象的です。私自身は、人の声は機械に収められた時点で「情報」となり、決して肉声に代わるものではないと考えています。

バージニア・リー・バートンによる『ちいさいおうち』（石井桃子 訳 岩波書店 1965(2019 改))は、55年にわたり読み継がれてきた、世界的なロングセラー本として知られた絵本の1冊です。ご存じの方も多いことでしょう。昨2019年は作家バートンの生誕110年にあたり、色鮮やかに絵本の印刷が変わりました。是非、手に取り、ご覧いただければ、印刷技術の進歩に目を見張られることでしょう。出版社の告知によれば、「原書・原画に合わせて色を再現」のほか、バートンらしい斬新なアイデアが再現されています。また、巻末にはバートンのご子息による「あとがき」が松岡享子氏の編訳で収録され、新たなバートン像が鮮やかに浮かびあがりました。とはいえ、子どもにとっては、その時出会う「絵本」がすべてです。大人の講釈抜きで、美しい色、手触り、質感、重さ、声、ぬくもり、物語。そのひと時すべてが、幸せな記憶となることでしょう。

また、『かいじゅうたちのいるところ』（モーリス・センダック 富山房 1975)も出版時に比べ、印刷が色鮮やかに美しくなり、読み継がれている一冊です。今年1月下旬、ニューヨーク・タイムスに掲載された【NY公共図書館「史上最も借りられた本」】10冊のリスト中、4位に挙がっていました。125年間のうち、遡及可能なデータの分析による貸し出し回数は、43万6016回。1位の『The Snowy Day(邦題:ゆきのひ)』（エズラ・ジャック・キーツ)の48万5583回とは、大差ではありません。公共図書館の貸し出しランキングは、その規模に関わらず、上位半分以上が子どもや若い読者に向けた本になるようですが、他2位の『キャット・イン・ザ・ハット』（ドクター・スース）、10位の『はらぺこあおむし』（エリック・カール)と併せ、計4点の絵本がランクイン。貸し出しの数だけ、絵本と一緒に幸せなひと時を過ごした子どもがいる。そう考えただけで幸せな気持ちになるデータです。

先が見えず、まだ緊張の続く日々、お子さんに絵本を読んであげてください。絵本と一緒に、身も心も安心して委ねられるひと時を、親子でお過ごしください。

【児玉 ひろ美(こだま ひろみ) JPIC 読書アドバイザー】